

環境問題と自動車の未来

5年 () 組 名前

◎今までの車と次世代自動車

種類	次世代自動車					
	今までの車 ガソリン車	ハイブリッド車	電気自動車	プラグイン ハイブリッド車	燃料電池車 (水素自動車)	グリーン ディーゼル車
特徴	ガソリンで動く車。今の日本では一番普及している。	ガソリンと電気ので動くが、電気だけでは動かすことはできない。	電気で動く車。充電するには専用の電気スタンドで充電する必要がある。	基本的に電気で動き、電気自動車と同じく電気スタンドで充電できるが、充電が切れたらガソリンで動く。	水素を使って動く。燃料補給は水素ステーションが必要だが、まだ少ない。開発している会社が少ない。	軽油を使って動く。ガソリンに比べ軽油の方が値段が安い。車体はガソリン車より価格が高い。
燃料補給場所	ガソリンスタンド	ガソリンスタンド	電気スタンド(スーパーなど)	電気スタンド(ガソリンスタンド)	水素ステーション	ガソリンスタンド
環境性能	走行時に排気ガス・二酸化炭素を排出する。	走行時に排気ガス・二酸化炭素を少し排出する。	走行時に排気ガス・二酸化炭素を排出しない。	エンジン走行時のみ排気ガス・二酸化炭素を排出する。	走行時に排気ガス・二酸化炭素を排出しない。	走行時に排気ガス・二酸化炭素を少し排出する。
普及率(%) (2021年)	49.3	42.8	0.88	0.95	0.1	5.96

1. なぜ次世代自動車が開発されたのだろうか？

- ・ガソリンを使いすぎると、ガソリンがなくなってしまうので、節約するために開発された。
- ・排気ガスが原因で地球温暖化になることを防ぐため。
- ・空気が汚れて、喘息になるなど健康被害が出るから。
- ・酸性雨の原因となり、植物が枯れるなどの被害が出るから。

2. なぜ次世代自動車は、たくさんの人々に使われていないのだろうか？

- ・次世代自動車の値段が高いから。(ガソリン自動車の方が安い)
- ・ガソリンに比べて、燃料を補給する場所が少ない。(電気自動車・燃料電池車など)

3. 本時の学習を振り返り、自動車の未来について考えましょう。

- ・もっと安く環境に優しい新自動車を作られるようにする。
- ・たくさんの人が環境についての意識してもらい買うようにする。
- ・エコカー減税というように買った人が得をするような法律を作る。
- ・たくさん作ることで、作るのにかかる値段を安くする。
- ・スーパーなどにある充電スタンドをもっと増やす。
- ・充電代金をタダにする。